

	<h1>れんごう下越</h1> <p>日本労働組合総連合会新潟県連合会・下越地域協議会 957-0054 新発田市本町 1-1-6 総合生協会館内 TEL0254-26-3705 FAX0254-26-0556</p>	<p>第 133 号 2017.4.15 発行人 福井 正史 1部5円 購読料は会費に 含 En la union Esta la fuerza 団結こそ力</p>
---	---	--

連合下越地協 2017 年春季闘争、地場中小取り組み

中小・地場組合の交渉支援と未組織労働者への波及を！



新発田・阿賀野支部決起集会

3月22日連合新発田支部・阿賀野支部 2017 春季生活闘争中小地場総決起集会を開催しました。佐藤新発田支部長が「中小企業は、日本の企業の 99.7%を占め、全従業員の約 7 割を雇用しています。そこで働く労働者の労働条件の向上が日本経済の「底上げ・底支え」「格差是正」の必要条件です。2017 春季生活闘争は「『底上げ・底支え』『格差是正』でクラシノソコアゲを実現しよう！長時間労働撲滅でハッピーライフの実現を！」のスローガンのもと、月例賃金の引き上げにこだわり最後まで闘いましょう」と訴えました。渡辺連合新潟副会長からは 2017 春季生活闘争の要求状況と基調報告を受けました。黒岩宇洋衆議院からは激励メッセージを頂戴し、新教組下越支部佐藤書記長から教組の現状と課題について、北興化学労組富樫書記長から単組の取り組みと状況の決意表明を受けました。斎藤阿賀野支部長の団結ガンバロー！で集会を終了し、その後、参加者 180 名が新発田市商店街をデモ行進しました。



村上市へ自治体申し入れ

3月16日、連合村上支部が高橋邦芳村上市長に 2017 春季生活闘争村上市への要請書を提出しました。村上支部の要請は初めてで推薦議員の本間清人市議に調整をお願いし、要請内容は 9 点、また昨年実施しました組合員の制度政策アンケートについて説明しました。連合村上支部は、「まち・ひと・しごと創生」村上市総合戦略に基づき企業誘致、若者の雇用創出の推進をお願いしました。高橋市長から平成 29 年度予算から保育園の拡充と保育現場に従事する労働者の労働条件の改善を進めている等の話がありました。今後も情報交換を行い住み、暮らし良い村上市を目指すことを確認しました。また、4月6日には、連合新発田支部が下妻勇新発田副市長に 2017 春季生活闘争に関わる要請書を佐藤支部長、佐藤事務局次長、連合推薦議員小坂市議、稲垣市議、小林市議、久志田事務局次長が出席して提出しました。若者、障がい者雇用推進について意見交換を行いました。

連合下越地協第 88 回メーデー

長時間労働の撲滅 ディーセント・ワークの実現。

今こそ底上げ・底支え、格差是正実現を！

テーマ「底上げ・底支え」

開催地区	開催日	時間	参加予定	式典会場	デモ行進	内容
村上	4月29日 (土)	9:30	300人	村上市 勤労青少年ホーム	○	集会・プラカード審査 お楽しみ抽選会
胎内	4月26日 (水)	18:30	300人	胎内市 産業文化会館	×	記念式典 お楽しみ抽選会
新発田	5月1日 (月)	10:00	700人	新発田市 市民文化会館	○	式典・プラカード審査 抽選会
阿賀野	4月29日 (土)	10:00	100人	阿賀野市 瓢湖水きん公園野 外ステージ	×	式典※雨天時は福祉会館 ビンゴゲーム、豚汁・揚げパン
五泉	4月29日 (土)	10:00	300人	五泉市 福祉会館	○	式典・プラカード審査 お楽しみ抽選会
東蒲原	4月29日 (土)	10:00	80人	阿賀町 文化福祉会館	×	※前夜祭 28日は ボウリング大会

メーデーとは

5月1日のメーデー (May Day) は、古くからヨーロッパでは「夏の訪れを祝う日」とされ祝日とされてきました。一方で、低賃金と長時間労働に苦しめられていた米国の労働者がゼネラルストライキ(全国的な規模で行われる労働争議)を行ったのが1886年の5月1日で、彼らは翌年以降も5月1日にゼネストを実施。この動きが世界の労働組合に広まり、1890年5月1日に第1回国際メーデーが多くの国で開催されました。これが今に続く「労働者の祭典」としてのメーデーの起源となったのです。

日本では1920年5月2日に第1回メーデーが東京・上野公園で開かれました。第二次世界大戦中は政府により開催が禁止されましたが、戦後、労働組合の活動再開とともに再び開かれるようになり、日本の労働者の地位や労働条件の向上、権利拡大をはじめ、人権・労働基本権の確立、民主主義の発展、恒久平和の希求に深く貢献し、その役割を果たしてきました。現在のメーデーは、米国の労働者が労働条件の改善を訴えたその想いを受け継ぎつつ、働く仲間とお互いをねぎらい、たたえ合いながら、家族や地域の皆さんにも楽しんでもらえる一大イベントとして世界中で愛されています。